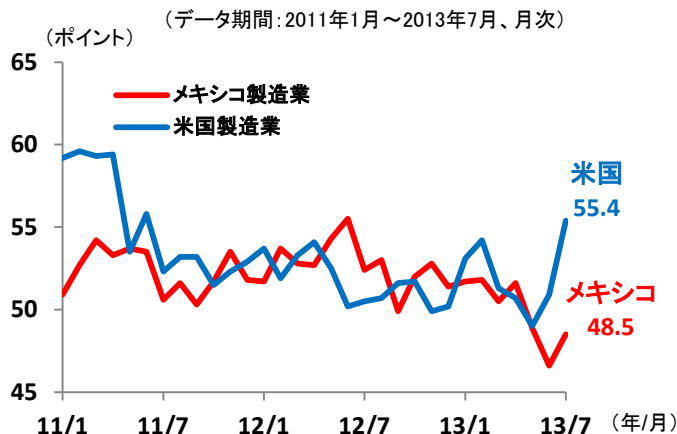




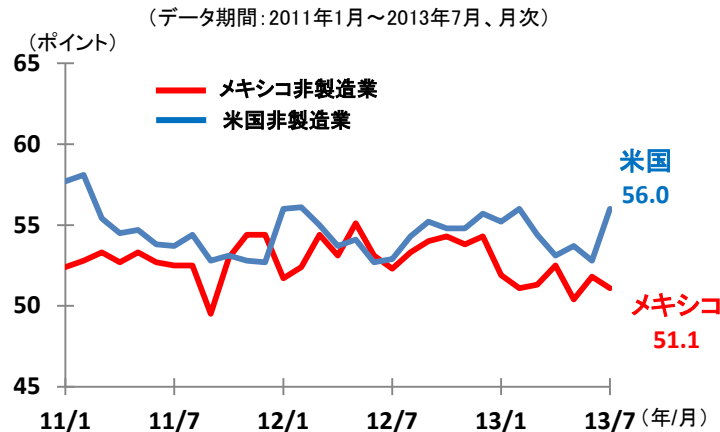
メキシコの経済動向とメキシコペソの推移について

- ◆ 米国景気の先行指標として注目される7月の米国製造業景況指数は55.4と前月の50.9から改善、非製造業景況指数は56.0と前月の52.2から改善しました。一方、メキシコの7月の製造業景況指数は48.5と前月の46.6から改善、非製造業景況指数は51.1と前月の51.8からやや低下しました(図表1,2)。
- ◆ メキシコは、総輸出額の約80%が米国向けであることから、米国経済の影響を受けやすい経済構造となっております。米国の景気回復に伴う輸出の拡大などを通して、景気拡大期待が広がっています。
- ◆ 2013年騰落率(年初来)のメキシコペソ/円は+13.9%で主要通貨中第2位、7月月間の騰落率は+0.3%で第4位となっています(図表3)。メキシコペソ/円は、メキシコ金利が相対的に高い水準にあることからキャリートレード(注)が復活していると言われています(図表4)。今後、メキシコペソは、安定したメキシコ経済を背景に注目度が増していくものとみられます。

【図表1:メキシコと米国の製造業景況指数の推移】



【図表2:メキシコと米国の非製造業景況指数の推移】

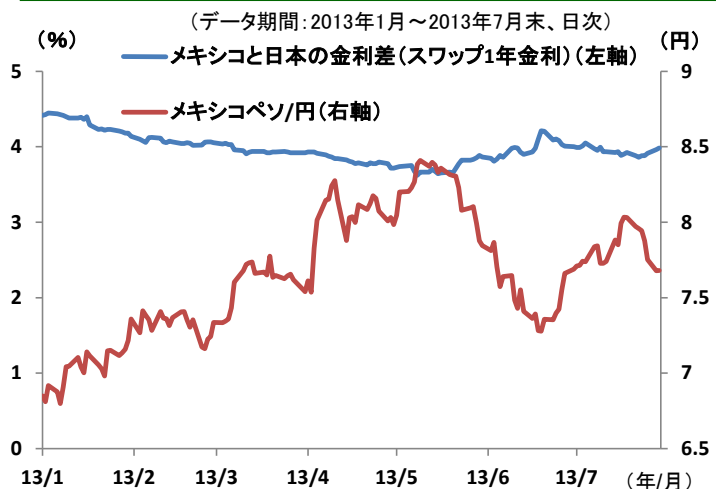


【図表3:主要通貨(対円)の騰落率】

(2013年7月末時点)

	通貨	7月月間	年初来
主要先進国	米ドル	-1.3%	12.8%
	ユーロ	1.0%	13.8%
	豪ドル	-3.0%	-2.5%
	英ポンド	-1.3%	5.6%
	カナダドル	1.0%	8.9%
BRICS諸国	ブラジルレアル	-3.2%	1.7%
	ロシアルーブル	-1.7%	4.7%
	インドルピー	-3.1%	2.0%
	中国元	-1.1%	14.7%
NEXT11主要国	南アフリカランド	-1.1%	-3.3%
	メキシコペソ	0.3%	13.9%
	インドネシアルピア	-3.7%	7.8%
	韓国ウォン	0.5%	7.0%
	トルコリラ	-1.6%	4.0%

【図表4:メキシコと日本の金利差とメキシコペソ/円の推移】



(注)キャリートレード

(出所:図表1~4はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成)

低金利の通貨で資金を借りてより高い金利の通貨で運用するトレードのことです。
為替取引は2つの通貨間の取引です。低金利の通貨で資金を借りてより高い金利の通貨で運用すると、その金利差が投資収益に加味されます。
金利差(より高い金利-低い金利)を利用したトレードのことを「キャリートレード」とよびます。